

情報伝達による個人又は集団に与える影響について

あなたは『ズル』をしたことがありますか？ ～不正行動に関する研究～

地域共創センター

特任教授 河合 孝尚 KAWAI TAKAHISA

教員情報



キーワード

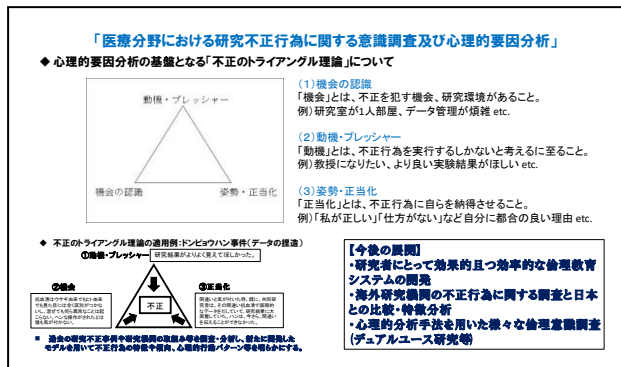
倫理、インテグリティ、不正行動、リーダーシップ、法令遵守

研究シーズの概要

嘘をついたり、ルールを守らなかったり…ヒトは誰もがズルをします。皆さんも「バレないから」という理由でズルをした経験はありませんか？私は、なぜヒトはズル（不正）をするのか、その心理的な要因を解明する研究に取り組んでいます。研究を通じて、個人のモラルや倫理観を高め、不正行為を抑止するための取り組みに貢献できることを目指しています。

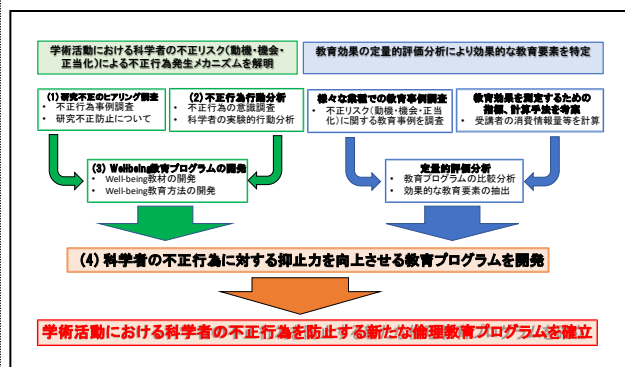
研究シーズの詳細

◆研究例①◆



本研究では、不正のトライアングル理論を基盤とした「医学系の研究者を対象とした研究不正行為についての意識調査」と「不正リスク要因（動機、正当化、機会）に関する心理的要因分析」を行い、医療分野における研究不正行為の原因と対策案等を検討し実効的な研究不正防止策等についての提言を行いました。

◆研究例②◆



本研究では、通常行われている関係法令や事例等を覚えるような知識蓄積型の教育プログラムではなく、科学者の不正リスクの発生メカニズムを解明し、不正行為に対する抑止力を向上させることで、不正行為の発生を未然に防止する「事前対策」としての教育プログラムの開発を行いました。

応用例・セールスポイント

【ここに想定される用途・応用例】

- ◆ リーダーシップ研修や不正防止研修などの社内教育プログラムの開発
- ◆ 効果的な不正防止対策の導入
- ◆ 組織や従業員のウェルビーイングを向上させる取り組み
- ◆ 組織のリスクマネジメント体制の強化

【企業等へのセールスポイント】

社内教育のマンネリ化、従業員のモチベーション低下、ハラスメント行為などは組織にとって深刻な問題です。これらの課題に対処するために、より効果的な施策を提案します。具体的には、リーダーシップ研修などの社内教育プログラムの開発、効果的な不正防止対策の導入、組織や従業員のウェルビーイングを向上させる取り組み、そしてリスクマネジメントの強化など、組織全体の健全な発展と持続可能な取組みに貢献します。

【問い合わせ先】 広島市立大学 地域共創センター 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1 (情報科学部棟別館 1F)

TEL:082-830-1764 / FAX:082-830-1555 / E-mail:ken-san@m.hiroshima-cu.ac.jp